

第6回下水汚泥有効利用勉強会を開催しました

滋賀県では、順次更新時期が訪れる汚泥処理施設について、職員の知見を深め、更新時の参考とするため、汚泥有効利用についての新技术を勉強する場として、令和3年度から職員向けの勉強会を開催しています。

令和6年8月20日(火)に第6回勉強会を開催しましたので概要を報告します。

第6回勉強会は、和歌山県にある和歌山縣ヘルス工業株式会社の資源化施設「ファームテック紀の川」を見学するとともに、施設の臭気対策や販売方法について学習しました。下水道課、南部・北部流域下水道事務所等から10名が参加しました。

まず、和歌山縣ヘルス工業(株)の職員の方から、ファームテック紀の川で製造している肥料成分や汚泥の搬入経路、搬入した汚泥を堆肥化するまでのプロセスについてご講義いただきました。

つづいて、ファームテック紀の川の施設内部を見学しました。

施設内部を見学することで高島浄化センターコンポスト化施設との違いや製造過程をより詳細に学ぶことができました。またコンポスト化施設内部だけでなく、軽石脱臭棟や天日乾燥棟内部も見学し、散水および微生物を使った脱臭方法等について学びました。

高島浄化センターコンポスト化施設では生物脱臭と薬品脱臭および活性炭脱臭を組み合わせている一方、ファームテック紀の川では「散水」および「軽石に住み着く微生物」による2段階の脱臭機能を導入しているといった違いがありました。

引き続き現場見学や講演等を通して、職員の知見を深めていきたいと考えています。



脱臭設備内部の様子



肥料製造現場の様子